

第四回 心を高める 経営を伸ばす 世界大会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年12月4日(水)「第四回心を高める経営を伸ばす世界大会」をご案内申し上げます。

昨年の第三回世界大会はリアルとアーカイブのハイブリッド開催で、1400名を超えるご参加をいただき、約1,200名が京都に参集されました。本年も盛和塾発祥の地、塾長ゆかりの京都国際会館で、日本、北米、53塾6ブロック、中国盛和塾から選抜されました6名に経営体験発表をしていただきます。

稲盛経営哲学は実践哲学です。発表者6名の方々が厳しい経営環境下で様々な苦勞を乗り越えて、心を高め、事業を伸ばし、従業員とその家族を守っていかれたプロセスや葛藤、経営を通して体得し、実践された学びを、迫力ある生の声で是非ご視聴・ご体験ください。

6名の経営体験発表と全世界のソウルメイトとの交流を通して、もう一度この一年を振り返り、新しい年を迎える前に勇気と活力を得る貴重な機会となると確信しておりますので、年末のお忙しい時期かと存じますが、奮ってご参加ください。

世界大会参加申込期日は8月16日(金)17時としておりますので、期日厳守にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

本大会参加者限定記念品「稲盛和夫金言集」の製作を進めております。製作には稲盛ライブラリー様、元京セラ粕谷昌志様、ダイヤモンド社様にご協力をいただきます。今回の世界大会でしか入手することが出来ない、手の切れるような素晴らしい書になるものと確信しています。また携帯性を高め、運びやすい文庫本サイズにしましたので、塾長の金言を常に携帯いただき経営に活かして頂ける一冊になると思います。ご期待下さい。

敬具

記

【世界大会概要】(予定)

(日 時) 2024年12月4日(水) 10時30分～19時35分

(会 場) 国立京都国際会館(宝ヶ池)

勉強会会場:メインホール、コンパ会場:イベントホール

(参加資格) ①地域塾塾生、②地域塾塾生の配偶者、後継者、幹部、③地域塾入塾希望者

※②は塾生の参加、③は推薦者の参加を条件と致します。人数制限はございません。

定員を超過した場合は①、②、③の順で優先致します。

(会 費) ※塾生・オブザーバー様共に下記参加会費になります。

勉強会&コンパ参加 25,000円

勉強会のみ参加 17,000円

アーカイブ参加 13,000円

※アーカイブの視聴期間、視聴方法等については、後日改めてご案内いたしますが、日本時間12月13日(金)頃から約3週間ご視聴可能となる予定です。

(申込方法・締切り) 8月16日(金)17時を締切りとします。

(お支払い方法) 南都銀行 学園前支店 普通 2234712

盛経塾大和 代表世話人辻将央(セイケイジユクヤマトダイヒョウセワニンツジマサオ)

(注意事項) 会費は事前に指定口座にご入金を御願いたします。

銀行振込み明細書をもって領収書の発行に代えさせていただきますので、

銀行振込み明細書の保管をお願いいたします。尚、別に領収書の発行をご希望の方は

事務局までご連絡をお願いいたします。

(キャンセルの場合) キャンセル期日は8月28日(水)17時までといたします。

キャンセルの場合は、seikeijukuyamato@gmail.com または 080-5290-4330 までご連絡お願い致します。

す。

(その他) リアル参加申込者で、キャンセル期日以降のアーカイブ参加への変更は可といたします。
 リアル参加申込者で、当日欠席の連絡をいただいた方にはアーカイブを案内いたします。
 リアル参加者へのアーカイブの案内はございません。
 アーカイブ参加申込者のリアル参加への申込は、塾からのご連絡で出来る限り対応いたします。
 勉強会の座席は、座席指定とします。座席は抽選で申込順・当日受付順ではありません。但し、ご夫婦やオブザーバー参加者と隣席を希望する場合は申込書に記載してください。出来る限り考慮いたします。

(当日スケジュール) (予定)

内容	開始	終了	時間	内容	開始	終了	時間
開会/挨拶	10:30	10:45	15分	経営体験発表⑥	15:10	15:45	35分
経営体験発表①	10:45	11:20	35分	トイレ休憩	15:45	16:05	20分
経営体験発表②	11:20	11:55	35分	稲盛塾長ビデオ講話視聴	16:05	17:05	60分
昼食/交流	11:55	13:05	70分	感謝状贈呈	17:05	17:15	10分
経営体験発表③	13:05	13:40	35分	閉会/挨拶	17:15	17:25	10分
経営体験発表④	13:40	14:15	35分	移動	17:25	17:45	20分
トイレ休憩	14:15	14:35	20分	コンパ	17:45	19:35	110分
経営体験発表⑤	14:35	15:10	35分				

【世界大会記念品】

(タイトル) 実践「稲盛 経営 12 カ月 (仮)

- (目 次) 1 章(1月) 「事業の目的・意義」を明確にしているか？
 2 章(2月) 「具体的な目標」を立てているか？
 3 章(3月) 「強烈な願望」を心に抱いているか？
 4 章(4月) 「誰にも負けない努力」を続けているか？
 5 章(5月) 「売上を最大限」に伸ばし、「経費を最小限」に抑えているか？
 6 章(6月) 「値決めは経営」を実行しているか？
 7 章(7月) 「経営は強い意志で決まる」と確信しているか？
 8 章(8月) 「燃える闘魂」をたぎらせているか？
 9 章(9月) 「勇気をもって事に当たる」覚悟があるか？
 10 章(10 月)「常に創造的な仕事」を心がけているか？
 11 章(11 月)「思いやりの心で誠実に」経営をしているか？
 12 章(12 月)「常に明るく前向きに、夢と希望を抱いて素直な心で」生きているか？

(内 容) 経営の 12 カ条の各条に対応する稲盛塾長講話集から要点を抽出。

『1章(1月)「事業の目的・意義」を明確にしているか？』では、ご講話から以下のような要点を抽出しています。

- 経営者一人でいくら努力をしてみたところで、どうしても限界がある。従業員を、自分と同じ気持ちになって、仕事にあたり、事業を支えてくれる、まさに自分と一心同体になって仕事をしてくれるパートナーとすることが必要になってくる。
- 社長に惚れ込んで、どこまでもついてきてくれる人たちをつくり、素晴らしい人間関係をベースとして、会社を発展させ、従業員を幸せにしていかなければならない。これが企業経営者の務めとなる。
- 己を愛していたのでは、誰も惚れてくれない。己を空しくして、自己犠牲を払い、従業員のことを最優先に考える。そうするからこそ、みんなが惚れ込んでくれる。

要点ごとに「日々学ぶ」ためのチェックマークを設け、各章の最後には「深く学ぶ」「広く学ぶ」ための資料の紹介、「自ら学ぶ」ための自身の「気づき」や「実践」を自由に記載するスペースを設けて、「経営 12 カ条」を学び直すことができる仕掛けにする予定です。

(仕 様) A6 判(文庫本サイズ)、ビニール装として、保存性と携帯性を高くする仕様です。